

2025年 3月号 ぴらたんニュース



京都にちなんだ
話題をお届けします
京 style



深草の桜は
野辺の桜し
心あらかばし
今年ばかりは
墨染に咲け

～ 京のお花見～

京都で桜を愛でるお花見が最初に行われたのは、平安時代に嵯峨天皇が神泉苑で開いた「花宴之節」だと言われています。紫式部も源氏物語で、光源氏が宮中で花宴を楽しむ場面を書いています。千年以上前の京の人々も、春の到来を心待ちにし、楽しんでいたことが伺えます。今回はお花見で愛でたい京の桜をいくつかご紹介します。平安時代からの桜の名所・鞍馬山の桜を雲珠桜(うずさくら)と言います。雲珠とは、馬具の飾り金具の名前です。常緑樹にまじって様々な種類の桜が咲く鞍馬山の景観が雲珠を思わせることから、その名が付いたとされます。

哲学の道の桜並木は、大正・昭和に京都画壇で活躍した、神戸生まれの日本画家橋本関雪夫妻がお世話になった京都へのお礼と、桜の苗木を約 300 本寄贈したのが始まりです。今も関雪桜と親しまれています。

平安時代、関白・藤原基経が亡くなった際、歌人・上野峯雄は「深草の桜よ 心があるなら今年には墨染色に咲いてほしい」と詠むと、気持ちが伝わったかの様に、薄墨色の桜が咲いたとされます。この伝説が「墨染(すみぞめ)」という地名の由来にも。

墨染寺では今も、咲き始めは白く、やがて淡い桜色に色付く墨染桜を観賞できます。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

【取扱商品】

社旗 横断幕 販促のぼり旗 のれん 応援団用品
祭り絆天 山車幕 神社寺院幕 神社のぼり旗 鈴緒
劇団幕 舞台幕 演台カバー マーチングバンド横幕



株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041 / FAX : 075-222-0843

MAIL : web@kyoto-hiraiwa.co.jp

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが
「配信停止」と記入いただき、ご返信ください

今すぐ
アクセス! **京都 平岩**